

各 位

 会 社 名 株式会社インテリジェント ウェイブ
 代表者の役職名 代表取締役社長 山本 祥之

(JASDAQ・コード 4847)

問 い 合 わ せ 先 常務取締役 経営管理本部担当 垣東 充

TEL 03-6222-7015

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 8 月 6 日に公表した業績予想を下記のとおり修正したのでお知らせします。

記

平成 27 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	75	80	50	1.90
今回発表予想 (B)	2,844	183	183	245	9.31
増 減 額 (B-A)	44	108	103	195	
増 減 率 (%)	1.6	144.0	128.8	390.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 6 月期第 2 四半期)	3,055	△103	△88	△72	△2.74

平成 27 年 6 月期通期連結業績予想数値（平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,400	380	400	250	9.49
今回発表予想 (B)	6,400	380	400	380	14.43
増 減 額 (B-A)	0	0	0	130	
増 減 率 (%)	0	0	0	52.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 6 月期)	6,558	145	183	86	3.29

平成 27 年 6 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,800	85	85	55	2.09
今回発表予想 (B)	2,844	194	202	264	10.03
増 減 額 (B-A)	44	109	117	209	
増 減 率 (%)	1.6	128.2	137.6	380.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 6 月期第 2 四半期)	3,055	△72	△69	△52	△2.01

平成 27 年 6 月期通期個別業績予想数値（平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,400	400	410	260	9.87
今回発表予想（B）	6,400	400	410	390	14.81
増 減 額（B－A）	0	0	0	130	
増 減 率（％）	0	0	0	50.0	
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 6 月期）	6,557	191	215	117	4.47

修正理由

(1) 平成 27 年 6 月期第 2 四半期業績予想について

当社の主要な事業領域である金融業界、クレジットカード業界においては、決済手段の多様化や外国からの観光客の増加といった社会環境の変化を背景として、新規の設備投資に係る商談も増加しています。

当連結累計期間においては、特に、クレジットカードの使用認証や銀行 ATM のネットワーク接続を担うパッケージソフトウェア NET+1（ネットプラスワン）やクレジットカードの不正利用を検知する ACEPlus（エースプラス）といった当社製品の販売が順調に推移しました。

また、情報セキュリティ対策業務においては、平成 26 年 10 月より取扱開始したパロアルトネットワークス社のマルウェア対策システム TRAPS（トラップス）の販売等、他社製パッケージソフトウェアの売上が順調に推移しました。

ソフトウェア開発等の業務より相対的に利益率が高いパッケージソフトウェアの販売が、当初計画を上回ったため、平成 27 年 6 月期第 2 四半期連結営業利益及び経常利益について、業績予想を修正するものです。

また、過年度に計上した投資有価証券評価損の一部について、税務上損金計上することができる見込みとなり、税金費用が 130 百万円減少したため、四半期純利益の予想を修正します。

(2) 平成 27 年 6 月期通期業績予想について

当第 2 四半期業績予想の修正に併せて通期連結業績予想を修正します。

上記のとおり、税金費用の減少によって当期純利益の予想を修正しますが、通期売上高、営業利益及び経常利益の予想は修正しません。

当第 2 四半期のパッケージソフトウェアの売上の一部は、当初、当下半期に計上する計画であったものが上半期に前倒しで計上されたものであるため、通期売上高予想に変更はありません。よって、通期営業利益、経常利益の予想の修正も行いません。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上